

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年6月21日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者50万人以上 (英国防省24年5月31日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

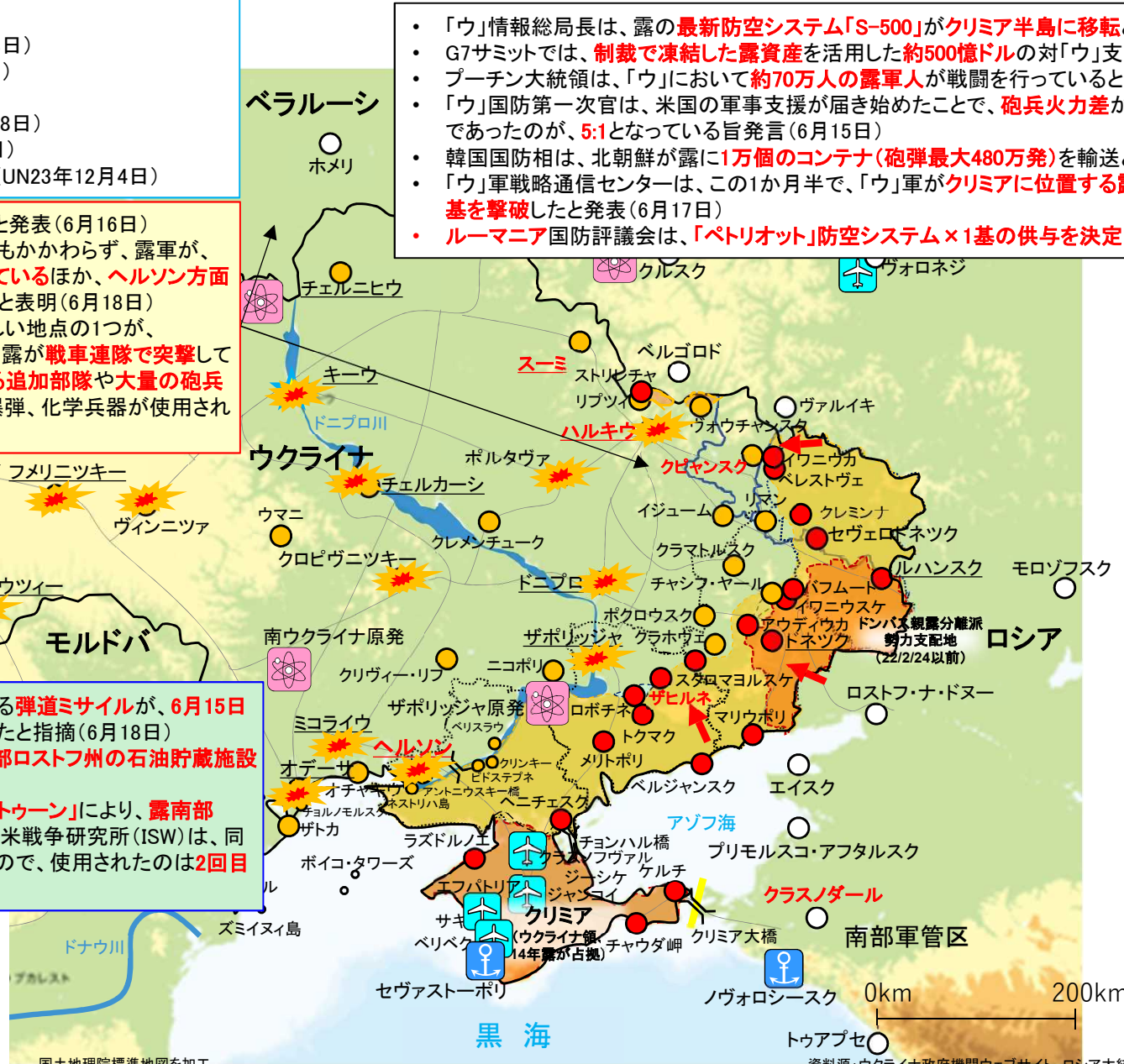
「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、ザポリヅジャ州ザヒルネ村を解放したと発表(6月16日)
- 「ウ」ハルキウ州知事は、同州方面での攻勢失敗にもかかわらず、露軍が、スーミ及びクピャンスク方面から予備役を引き抜いているほか、ヘルソン方面でも部隊の引き抜きがあるとの情報を確認していると表明(6月18日)
- 「ウ」第3独立強襲旅団は、現在最も敵の攻勢が激しい地点の1つが、ルハンスク州境に隣接するハルキウ最前線であり、露が戦車連隊で突撃しているほか、民間軍事会社(PMC)・特殊部隊から成る追加部隊や大量の砲兵が集結し、一人称視点(FPV)ドローンや滑空誘導爆弾、化学兵器が使用されていると表明(6月18日)

- 「ウ」情報総局長は、露の最新防空システム「S-500」がクリミア半島に移転と発言(6月13日)
- G7サミットでは、制裁で凍結した露資産を活用した約500億ドルの対「ウ」支援で合意(6月13日)
- プーチン大統領は、「ウ」において約70万人の露軍人が戦闘を行っていると言(6月14日)
- 「ウ」国防第一次官は、米国の軍事支援が届き始めたことで、砲兵火力差が今年初めには7:1であったのが、5:1となっている旨発言(6月15日)
- 韓国国防相は、北朝鮮が露に1万個のコンテナ(砲弾最大480万発)を輸送と発言(6月17日)
- 「ウ」軍戦略通信センターは、この1か月半で、「ウ」軍がクリミアに位置する露防空システム×15基を撃破したと発表(6月17日)
- ルーマニア国防評議会は、「ペトリオット」防空システム×1基の供与を決定したと発表(6月20日)

- 米国連大使は、北朝鮮が露に供給した可能性のある弾道ミサイルが、6月15日に2発、16日に2発の計4発、「ウ」に向けて発射されたと指摘(6月18日)
- 「ウ」メディアは、「ウ」保安庁が、無人機により露南部ロストフ州の石油貯蔵施設を攻撃し、大規模な火災が発生と報道(6月18日)
- 「ウ」メディアは、「ウ」軍が、国産対艦ミサイル「ネプトゥーン」により、露南部クラスノダール地方の石油貯蔵施設を攻撃と報道。米戦争研究所(ISW)は、同攻撃は対地用に改良された「ネプトゥーン」によるもので、使用されたのは2回目であると表明(6月19日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等